



夢とロマンの旅「赤米献上」

11月2日、今年度も6年生が地域の皆様とともに奈良平城宮跡まで「赤米献上の旅」に行きました。本校のふるさと学習の中核である「赤米学習」の中でも最後の学習活動です。



市役所での出発式

前日の1日には「赤米献上の旅・出発式」を行いました。市役所や浴道には、保護者・地域の皆さんが多数集まってくださいました。

「平城宮いざない館」で平城宮跡について学習。見応えのある展示物を子どもたちは熱心に見学しました。



女官さんが説明してくださいました

平城京のメインストリート、朱雀大路を歩きました。天平衣装を着た子どもたちの行列を、多くの観光客が歓迎してくださいました。



朱雀大路



朱雀門



大極門での赤米献上の儀。天平衣装を着た役人が登場しました。役人に赤米と木簡を献上し、赤米献上隊は無事にその任務を終えました。

平城宮跡に続いて東大寺を訪れました。奈良ではスケールの大きさに圧倒されます。大仏を見上げる子どもたち。



- この旅の数日前、電話をかけてこられた先輩の先生が「また奈良まで赤米の献上に行くんやな。あれは外から見とってもええ勉強やと思うわ。なんか夢があるやろ。」とおっしゃいました。なんだか自分の中でもふわっと思っていたことを、ズバツと言葉にされたようでした。
- 平城宮跡で木簡が見つかったのが昭和38年、小佐地区で赤米栽培が始まったのが昭和63年です。当時の小佐地区では赤米を育てて奈良平城京への献上を再現してみたいという機運が高まったそうです。それが今の本校の「赤米学習」につながっています。赤米を育てるだけではなく、それを平城宮に献上しようという壮大な思いつき。これはまさに「ふるさとへの夢とロマン」です。
- 大人と子どもが交互に行列になって田植えをする光景は、1300年前の小佐郷の風景だったのかもしれませんが。子どもたちが天平衣装を着て行列をした朱雀大路は、道幅が70メートルもあったことがわかっています。小佐から赤米を運んできた人々は、多くの人でにぎわう都の大通りをどんな思いで歩いたのでしょうか。また、木簡に記されている「天平勝宝7年(755年)」という年は、奈良の大仏が建立されてから3年後に当たります。赤米を送り届けた当時の小佐の人たちは、この旅の6年生と同じように、できたばかりの巨大な奈良の大仏を見上げたのかもしれませんが。「そんな呑気な時代じゃないよ」とは思いつつ、1300年の時間をこえて想像がふくらむ「なんか夢がある」のです。
- 6年生の子どもたちは「赤米学習」を通して、3年生で赤米を植えた時から、その壮大なストーリーの中にいたのです。こんなに夢のある学習があるのでしょうか。これほど夢とロマンにあふれた事業を始めてくださり、八鹿小学校のふるさと学習につないでくださった小佐地域の皆さんにはおそれいるばかりです。

■ 伝統文化にふれる「狂言教室」【6年生】 11月9日・10日

2日間にわたって神戸より大蔵流狂言「志芸の会」の狂言師の皆さんに来ていただきました。狂言は「言葉と動きで何かがあるかのごとく演じるお芝居」だという説明がありました。舞台上にはほとんど舞台装置がありません。古い言葉によるセリフは子どもにとっては理解するのが難しいにも関わらず、6年生の子たちは実に楽しそうに身を乗り出して鑑賞していました。古くから伝わる伝統芸能ですが、子どもたちにとっては、新しいものなのでしょう。フレッシュな感覚で伝統芸能に親しんでいました。



「柿山伏」の上演



「柿をぼる」型を体験

■ 山陰海岸ジオパーク駅伝2位入賞！ 10月28日

但馬ドーム周辺駅伝コースで開催された「山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼但馬小学生駅伝競走大会」で、八鹿小学校チームは見事2位入賞を果たしました。この駅伝に代々参加してきた八鹿小学校の歴史の中でも、ひとときわ輝く成績です。5年生と6年生の8名で編成された本校の出場選手たちは、他の子どもたちが帰った放課後、練習に取り組みました。八鹿小を代表して走るハチマキの重みと、つなぐタスキの重みを受け止め、ねばり強く走る姿に感心しました。リザーブの選手も、精いっぱいサポートぶりでした。8人全員の総合力でつかんだ2位です。選手の皆さん、本当によくがんばりました。おめでとう！



* 閉会式に参加できなかった選手もいます

迫る！「創立150周年記念演奏会」

来たる11月17日(金)に、創立150周年記念行事を開催します。当日は午後からのオープンスクールとし、授業参観と記念演奏会を行います。記念演奏会は本校卒業生のピアニスト田中愛子さんと、但馬ご当地ソングでお馴染みのギタリスト勝地哲平さんをお迎えしてのJAZZライブです。

また演奏会では、なんと4年ぶりとなる全校合唱と、校歌完全版(4番まで)も披露いたします。

子どもたちとともに、保護者の皆様、地域の皆様も多数ご参加いただきたく存じます。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

| 当日(11月17日)の日程 | |
|---------------|--|
| 13:00 | 授業参観 |
| 14:00 | 創立150周年記念演奏会 (体育館にて) ・オープニング 全校生による合唱 ・あいさつ ・JAZZライブ ・児童代表お礼の言葉 ・校歌(会場の皆様と) |
| 15:20 | 一斉下校 |

- 創立150周年を迎え、多数の地域の方が学校に足を運んでくださいます。久しぶりに学校を訪れた方も多く、懐かしそうに校舎内の様子を見ていただいたり、在校当時のお話をお聞かせいただいたりすることもあります。あらためて八鹿小学校は地域の皆様のものなのだと実感するところです。

はじまりの歌(150年バージョン)
150年前の子どもたちも
この場所で夢を見た
誰かが描いた虹の彼方を
いま
歩く僕がいる
時を越え伝い来る
未来への風が
僕らの心に咲く
夢の花を
揺らして
さあ一緒に
扉を開いて
新しい明日へ行こう
僕らが描く
虹色の夢が
素敵な
未来を
創るだろう
はじまりの歌を
あなたと奏てよう
重なりあう
想いのせて
届け
未来の空へ
明日を
生きる
あなたへ

- 右は記念演奏会で全校生が歌う「はじまりの歌」の歌詞です。150年前とは言わずとも、卒業生誰もが夢を見たこの校舎。小さな手に「願いのバトン」を受け取った246人の子どもたちが心を込めて歌います。子どもたちの歌声もぜひ、お楽しみください。